



第8号

発行日 2006年10月
編集 北海道音響事業協会
発行人 理事長 中根 慶之
事務局 札幌市中央区北7条
西15丁目28番10
事務局 加賀 芳拡
http://www.hsba.jp/

otogoto

1級舞台機構調整（音響機構調整）技能士 試験体験記

.....

今年の音響機器展はちょっと手を変えてみました。この展示会はインタービーの後、忘年会要素ムンムンで、出展メーカー様にはノリだけでお願いしていました。そこで北海道らしさ？を出す為に、ご希望のメーカー様には会場内でセミナー若しくは商品説明会を時間割して、開放しようという企画です。どこが北海道？開放ってどこですかね（苦）多少の音出しもいいかなってところです。今年は一トライアルですが、評判が良ければ来年以降も続けていきたいです。今後も楽しく面白い、他にはない機器展にもっていきたいですね。

.....

目次

会員紹介.....2

プロ音響機器展
新賛助会員紹介.....3

活動報告、情報コーナー
編集後記.....4

突然、「試験の体験記を書け」と言われても、文章が苦手なもので、こんな内容で失礼します。

丁度一年前、札幌でも試験を受けられると聞き、非常に軽い気持ちで受験を決めました。

受験することにしてから二ヶ月が過ぎた頃、試験の講習会が行われました。

その日は午後から現場があり、昼迄に会社へ戻らなくてはならなかったの
で、試験の概要、機材の説明などを聞いた後、すぐに実技の模擬試験となり
ました。

その結果、講師の方にいろいろなところをチェックされ、一言「これじゃあ不合格だ」とはっきり言われ、ショックの色を隠すことが出来ぬまま会場を後にしました。

さらにその帰り道、コンビニの前に停車中だった車にサイドミラーを接触。

その上、若造に「どこ見て運転してんだ！」と説教までされ.....

そんなこんなで「今年は駄目かなあ」思っていた数日後、とある方から電話で激励の言葉を頂き、学科試験の二週間前になって、やっと気持ちを切り替え真剣に取り組みはじめました。毎日過去の問題集をやり、現場でも空き時間に同僚に問題を出してもらったりしながら
過ごしました。

そして学科試験当日、尿管結石の痛みに耐えつつ、試験スタート。一問目から撃沈、試験後、仲間と答えあわせをして、また撃沈。

午後からの要素試験、答えが違い、終了っ！

そして緊張の実技試験当日、早く時間が過ぎてほしいという願いも虚しく、まもなく順番と思ったそのとき 停電！

その後、一時間以上控え室に置き去りにされ、皆さんご存知の各社のトップの試験官が見ている重苦しい空気が漂う中、試験開始。その後は会社に着くまで記憶喪失！



試験の内容はここでは書ききれませんが、たくさんの方々のおかげで、こんな状況でもなんとか合格することが出来ました。

ある程度の経験がある人であれば、学科は過去問を沢山こなし、実技は冷静に対処出来れば、合格できる試験だと思います。これから受験する皆さん、頑張ってください。
北海道共立 夷石 徳男



会員紹介

株式会社 ほりぞんとあーと

本社 札幌市中央区北1条東6丁目10番地

TEL 011-221-3101 FAX 011-261-6712

制作 札幌市西区発寒10条14丁目1067番18

TEL 011-662-0071 FAX 011-662-2077

<http://www.horizont.ecnet.jp>

(株)ほりぞんとあーとの加藤です。

はじめに当社創立の簡単なお説明をさせていただきます。

当社は、創業者武内昭二が、昭和27年頃より道内の演劇・舞踊等の制作者と共に舞台作りに関わりだしたのが契機となり、同好の士と共に同人組織「ほりぞんとぐるうぶ」を昭和31年1月に発足させました。同年にはNHK札幌放送局がテレビ放送を開始し、その局外中継番組の照明を担当。HBC・STVもテレビ放送を開始し、それらの開局記念番組・局外中継番組の照明も担当致しました。



昭和33年札幌市民会館が開館し、舞台公演の増加に伴い、昭和34年事務所・製作場を開設し、専従職員を置き、昭和47年5月、組織を株式会社に変更「株式会社ほりぞんとあーと」と呼称を改めました。

昭和52年7月には、札幌市教育文化会館の舞台設備機器操作管理業務を受注し、公共ホールの運営に関わり、この時初めて、オペレーター業務だけの音響担当ができ、現在の音響部へと引き継がれてきました。

後発の音響部は必要最小限の機材と小さな編集スタジオを発寒の一部に間借り状態で始めました。オペレーター業務を中心とした部署なので、足りない機材やスタッフは他社からお借りし、外の現場をこなしています。

美術・照明・音響と3部門そろい、総合的な舞台製作に取り組める会社の一つとして、皆様方と業界の向上と発展を目指し、これからも頑張っています。



Sound Business Fair in Hokkaido 2006
「第8回プロ音響機器展」開催

今年も恒例のサウンドビジネスフェアを開催いたします。
会場は昨年同様、札幌コンベンションセンター大ホールです。

開催日時 2006年12月6日(水)13:00～18:00
7日(木)10:00～17:00

会場 札幌コンベンションセンター大ホール
札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

セミナー及び商品説明会

展示会場内にてブースを設け、希望出展者様における
セミナー及び商品説明会を時間割して実施

スケジュール(予定)

6日 14:00～、16:00～
7日 11:00～、13:00～、15:00～

現在調整中ですが、何が出てくるかお楽しみに！！

なお、別会場にて株式会社イーブイアイオーディオジャパン様が
商品説明会を実施していますので、足をお運びください。



新規賛助会員のご紹介

学校法人 北海道安達学園 札幌ビジュアルアーツ
〒060-0042 札幌市中央区大通西9-3-12
tel 011-272-2855 fax 011-272-1207 <http://www.visualarts.ac.jp/>

株式会社シグマシステムエンジニアリング
〒169-0072 東京都新宿区大久保3-5-2
tel 03-3204-2611 <http://www.kamesan.co.jp>

よろしく申し上げます。



活動報告です。



「いいかげん納涼パーティー」を今年は平成18年10月13日の金曜日16:30～、参加人数16名で恒例になりましたTIKI TIKIにて開催いたしました。

猛暑をなんとか乗り切りましたが、やはり9月開催は厳しく、昨年とは赴きも違います。更に来年入会予定のラバースエージェン

シーの桜庭さんと秋田さんが参加されました。情報交換の場として大いに交流を深めていただきたいと思います。



情報コーナー

札幌市民会館閉館後の代替施設整備について

札幌市民会館につきましては、既にお知らせしておりますとおり平成19年3月末で閉館する予定であり、貸し出しについて大ホールは同年1月末まで、会議室は同年3月21日までとしたところです。

新しい施設につきましては、現在、全市的な観点から都心にふさわしい機能を検討しているところですが、都心部の再開発計画（創世1.1.1区）による建設を検討しており、本格的な後継施設の建設には最短でも7～8年の期間がかかる見通しであります。

この空白期間をできるだけ短くするため、現市民会館跡に大ホール及び会議室を持った代替施設を整備し、本格的な後継施設建設までの間、現市民会館に替わる施設として、市民の皆様にご利用していただくことといたしました。

現市民会館の閉館後、直ちに建物の解体・除去工事を行い、代替施設の整備に着手し、平成20年度後半に供用開始の予定です。なお、施設規模としては、1500席程度の大ホールと複数の会議室の設置を考えております。

10月5日札幌市教育委員会生涯学習部H.P.より

皆さんの情報を待っています
どんな内容でもかまいません
事務局へご一報を

編集委員

編集長 富井 昭次

ジョーダウン

編集員 川島 俊彦

ケイズ・サウンド・クリエイト



編集後記

いつの間にか北海道は野球王国になったのでしょうか？日ハムのパリーグ制覇、苫駒の3年連続決勝進出。経済波及は何十億とか。その反面、北朝鮮の核実験、身近にあったいじめ問題、懲りない飲酒運転、政治は小泉さんから安倍さんに首相が変わり、年金問題、教育問題、アジア外交問題、宿題は山ほど引き受けたようですが、さてさて、私たちの業界の宿題は何でしょうか？
8刊目になりました小紙ですが、顔ぶれも8歳老けたわけで、団塊の世代問題も多かれ少なかれ係わってきそうです。
誰かが言ってました。「後2年で一昔だ！」